

江東区 青少年委員だより

No.78号

江東区青少年委員会
広報部
江東区地域振興部青少年課
地域連携係
江東区東陽4-11-28
TEL.3647-9629
FAX.3647-8474

3年ぶりの開催 江東区民まつり

令和4年10月15日(土)・16日(日)に都立木場公園にて江東区民まつりが開催されました。コロナ禍のため3年ぶりの開催となりましたが、両日も天候に恵まれ、たくさんの方が来場されました。青少年委員会では恒例の『なつかしの縁日』をテーマとして「射的」と「ポン菓子の配布」を行いました。射的には1,578名、ポン菓子配布には1,527名とたくさんの方に来場いただき、大変盛り上がりました。射的、ポン菓子配布それぞれのコーナーでは、小さいお子さんから大人までとても喜んでいただき、忘れかけていたお祭りの喧騒を思い出させてもらえました。

青少年委員会ブースは大盛況!!



狙いを定めて



今年は、ポン菓子を青少年委員会で作るという、初の試みを行いました。「3、2、1」の掛け声に合わせてハンマーで蓋をたたくと「ポン!」という大きな音とブワッとわき立つ真っ白な水蒸気の中を、お米のお菓子が籠の中に飛び出す様子を、老若男女を問わず大歓声が上がっていました。



無事終了! 笑顔の委員たち



ポン菓子の味付けも委員が行いました

二十歳のつどい



最高の笑顔で!!

令和5年1月9日(月・祝)「成人式」の名称を「二十歳のつどい」に改め、ティアラこうとうにて開催されました。対象者数が4,146人の一大行事です。集まった二十歳の方たちの笑顔、姿はとても立派でした。

式典は和太鼓演奏や光のファンタジーのパフォーマンスに始まり、区長・議長による挨拶、二十歳の決意表明、お楽しみ抽選会を行い、最後に出立の三本締めが行われています。楽しみつつも厳かな雰囲気的大事にされていました。参加者は気持ちを新たにしたことでしょう。大きく羽ばたいてほしいです。

青少年委員は成人式のお手伝いを毎年行っています。今年も場内外の誘導、記念撮影サポートなど多岐にわたり盛り上げ役を務めました。思い出作りに少しでも貢献できていたら幸いです。

場内誘導をサポート



第16回 江東区内都立高校紹介

江東区青少年委員会では、小・中学生や保護者の皆さまに「行ける高校」ではなく「行きたい高校」を検討していただくために本事業を行っています。本年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、江東区公式YouTubeチャンネルや江東区青少年委員会公式ホームページから閲覧する方法を採用しました。

令和5年度は、7月に従来のティアラこうとうでの開催を予定し、高校生の生の声を直に来場者の方に伝える場にしたいと考えております。今後ともよろしくお願いたします。



「行ける高校」から



「行きたい高校」へ



人力車も復活

地区会探検

大島地区

3年ぶりに「子ども会育成指導者地域別研究協議会」が開催されました。青少年委員が運営を担い「地域活動におけるネット活用の有用性」について高橋直樹委員が講演を行いました。来年度は地域のさまざまな行事が再開することを願っています。



大島地区の
6委員です

ジュニアリーダー講習会

令和4年12月4日(日)にジュニアリーダー「初級・中級合同交流会、閉講式」が南陽小学校で行われ、無事に講習を修了しました。例年使用している青少年交流プラザが、ワクチン接種会場となっていたための対応で、まだまだコロナの影響を感じる1日でした。

そんな状況でも、こどもたちは元気な笑顔を見せてくれました。

特に、10月30日の若洲のデイキャンプでは、中級講習生が初級講習生をしっかりリードしており、一年での成長を見せてくれました。

修了証を渡す
福山会長



修了式に臨む
講習生たち

かまどに挑戦



委員たちも
見守ります

施設見学会

令和4年9月18日(日)江東区北砂1丁目の「東京大空襲・戦災資料センター」にて研修部主催の生涯施設見学会を行いました。当日は土砂降りの雨でしたが33名の青少年委員が参加しました。

東京大空襲についてのビデオを鑑賞後、空襲体験者の二瓶治代さんによる講演を拝聴しました。二瓶さんは8歳の時に当時住んでいた江東区亀戸で空襲に遭遇し、生き残ったことは奇跡的ともいえる壮絶な体験をお話くださいました。これまで誰にも話す気になれなかった空襲の記憶、半世紀以上経ってようやく話せるようになったとのこと。大変貴重なお話をありがとうございました。

地区会探検

亀戸地区

毎年8月に開催していた三者懇談会は夏のコロナ感染拡大の影響により3年続けて中止になりましたが、亀戸子ども会連合会の若洲キャンプ(デイキャンプではありませんが)や亀戸オリンピック2022(スパードッジボール)は久々に開催することができました。

年が明けて「新春子ども会まつり」「亀戸史跡めぐり」も開催され、徐々にではありますがいつもどおりの一年に戻っていくと思われま。

亀戸地区の青少年委員は5名。地区会も集まりやすく、機敏な動きでさまざまな行事に参加することができます。このメンバーでもう一年"楽しく"をモットーに活動していきたいと思ひます。



二瓶さんの講演



"楽しく"

ビデオ鑑賞する委員たち



こちら3年ぶり対面で開催！中学校生徒会交流会

令和5年1月28日(土)、深川第八中学校において区内23中学校による「生徒会交流会」が開催されました。

今回は「いじめ防止活動をどうしたら広められるか」をテーマに、第三砂町中学校生徒会の皆さんによる取り組みの報告の後、12グループに分かれてのグループ交流会を行いました。



代表校による発表

青少年委員もアドバイザーとして各グループに入り、熱く楽しく話し合いに参加しました。

討論の中で、タブレットを活用する生徒も多く、今回のテーマについて実践したことや生徒会の問題点について交流会後も情報交換したいと話していたことがとても印象的でした。

今回の交流会が、今後の交流を広げる良い機会になったと思います。



「いじめ防止活動」についてグループ討論

昨年引き続き 黒板アート講習会を開催!! 中学生体験プログラム

令和4年11月26日(土) 砂町中学校にて、中学生体験プログラムを開催しました。

昨年に引き続き、講師に橋場こゆきさん、林利緒奈さんの2人を迎え、区内の中学生18名が、黒板アート講習会を体験しました。

始めに練習用の黒板を使って黒板アートの基本の描き方を学んだあと、チームに分かれて教室の黒板に作品を描いていきました。参加した生徒からは、「これからも黒板アートに挑戦したい」、「生徒会新聞などで広めたい」という感想がありました。



教室の黒板で作成に挑戦

作品の発表と講師からの講評



編集後記

今回も制約のある中、青少年委員会は各部会・実行委員会がさまざまな行事を行い、子どもたちに体験させることができました。

委員会活動を部員それぞれが参加し、紙面作りをし、これからも青少年委員会をアピールしてまいります。(I.I.)